

医療法人社団清伸会

ふじの温泉病院

高齢化社会を支える療養型医療機関として
患者満足度の高い医療サービスを提供

温泉と美しい自然に恵まれたゆとりある環境で
高齢者とご家族に癒しの医療を提供

ふじの温泉病院は、神奈川県北部の山梨県に程近い場所にあり、豊かな自然に囲まれた環境にあります。敷地内の地下1,400mからアルカリ性温泉が自噴しており、患者様の温泉療養や来院されるご家族のリラクゼーションに役立てています。理事長の加藤隆司先生は、「ご高齢者が快適な生活環境の中で治療に専念し、また介護されるご家族の精神的負担を少しでも軽減するような医療を提供することが、高齢化が進む社会で当院に求められる使命だと考えます」とご説明されました。同院には老人保健施設とケアセンターが併設されており、中・長期の滞在からデイケアまで、看護介護が必要な患者様に対して最適なサービスを提供しています。



理事長 加藤 隆司 先生

患者様本位の栄養投与を目指してPEGを導入

現在ふじの温泉病院では入院患者の約18%がPEGを施行されています。加藤先生が着任される平成16年以前は、療養型病院の性質上PEGを施行された患者様を多く受けて入れていましたが、内視鏡を扱える医師がいなかったため造設手技は行っていませんでした。しかし、造設から交換、ケアまでをトータルで管理するために、加藤先生が率先してスタッフの教育を行って内視鏡室を立ち上げました。平成19年に内科の中野健太郎先生を迎えてからは、医師2名で胃瘻の造設や交換のほかにも、上部・下部の内視鏡検査やポリープの切除等にも対応しています。加藤先生にPEG施行のメリットをお伺いしたところ、「まず、PEGの最大のメリットは、患者様ご本人の苦痛が著しく改善される点です。ご家族にもこの点をお話することで、大抵の方が納得して施行を希望されます。また、最近では介護施設等でもPEG患者様のほうが受け入れられやすいとも聞いています。もう一つのメリットは、



〒229-0206 神奈川県相模原市藤野町牧野8147-2
院長：岩淵 純男 病床数：472床(内科療養216床、精神256床)
併設老人保健施設「なごみの里」：80床
スタッフ：医師12名 看護師101名(病院全体)

特に精神科の患者様の場合、中心静脈栄養や経鼻胃管などの経管栄養だと自己抜去のリスクが高いため、PEGを施行したほうが安全性が高いという点が挙げられます。そのため、当院は適応患者様に対しては積極的にPEGを造設しています」とご説明になりました。PEG造設の症例数はまだ少ないものの、退院後もコンタクトが可能な患者様に対しては摂食訓練を行っており、中には普通に食事が摂れるようになったため、PEGが不要になった患者様もいらっしゃるそうです。加藤先生は、「PEGのメリットを最大限に活かすためには、術後感染を含めた偶発症や合併症を生じさせないということです。そのため当院では、交換手技でもなるべくブラインド操作をなくし、必要に応じて内視鏡と透視を併用して安全を重視した交換手技を行っています。また、平成17年にはクリティカルパスを導入し、造設から術後ケアまで各病棟均一な管理を実践しています。今後は栄養剤の改善による褥瘡の治療も含めた総合的な栄養状態改善に取り組めるよう、看護部や栄養科、薬剤師などのコメディカルを含めて総合的な患者ケアを行う体制作りにも注力したい」と展望をお話になりました。



内科 中野 健太郎 先生



胃瘻チームのみなさん